

2020年12月1日

株式会社日立ソリューションズ

物流業の入出荷を効率化できるソリューションを販売開始 AIで高速・高精度にコードを読み取り、ARで業務データが見える化する「Scandit」を活用

株式会社日立ソリューションズ(本社:東京都品川区、取締役社長:星野 達朗/以下、日立ソリューションズ)は、新常態(ニューノーマル)により、物品の取扱量が増大する物流業における、倉庫への入荷から、ピッキング、出荷までの業務を効率化できるソリューションを12月2日から販売開始します。

本ソリューションでは、モバイル・コンピュータビジョンの技術で複数のバーコードやQRコードを同時に高精度で読み取り、AR(拡張現実)技術で業務システムの情報とリアル空間を組み合わせることができる「Scandit Barcode Scanner SDK(ソフトウェア開発キット)*1」を活用した、物品の入出荷や検品作業の効率化を実現*2します。

これにより、物流業のお客様は、入出荷時の検品において、複数の物品に貼り付けられたバーコードやQRコードを一括で読み取ることで、物品の個数確認を瞬時に行うことができ、さらに、業務システムが保持する出荷先などのデータをバーコード上にAR表示して、見える化することで、作業者が視覚的に判断できるようになり、作業誤りの防止などの品質確保を実現できます。

日立ソリューションズでは、物流業における現場業務の効率化をデジタル技術によってトータルに支援していくことで、お客様の業務革新を実現していきます。

*1:「Scandit」の高速・高精度の読み取りは、こちらの動画(<https://www.scandit.com/jp/products/>)をご覧ください。

*2: 物流業務の効率化の実現イメージは、こちらの動画(<https://youtu.be/Jw5sfJewW-0>)をご覧ください。



図: 入出荷検品を活用した例

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
ホームページ: <https://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ

■ 背景

昨今、新型コロナウイルス感染症拡大による社会情勢の変化を受けて、物流業では巣ごもり消費の需要増を受け、EC サイトからの発送を中心に物流量が増加しています。物流センターなどの現場では人手が必要な状況でありながら、密な場所を回避するために人員を増やせないなどの問題があり、作業の省力化が求められています。

日立ソリューションズは、これまで「Scandit」の高速・高精度な読み取りや AR を活用し、配送業務の積荷や受取作業を効率化できるソリューションを提供してきました。このたび、倉庫の入出荷業務を効率化するソリューションも提供することで、トータルに物流業の作業現場の業務効率向上を支援します。

■本ソリューションの特長

1. 「Scandit」の複数コードの一括読み取りで、個数確認が容易となり、検品作業の時間短縮を実現
2. 「Scandit」のARを活用し、業務システムが保持するデータを見える化し、検品作業の品質確保を実現

■「Scandit」とは

「Scandit」は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスと、そのカメラを活用し、モバイル・コンピュータビジョン技術で暗い場所や離れた場所でも複数のバーコードや QR コードを瞬時に読み取ることができます。また、汚れていたり、破れていたりしているコードも高い認識率で読み取ることができます。さらに、AR 技術で業務システムの情報とリアル空間を組み合わせることができる「Scandit Barcode Scanner SDK (ソフトウェア開発キット)」を提供します。世界中の小売や物流、製造、医療などのさまざまな分野で、1,000 社以上の先進企業で活用されています。

■ Scandit パートナー契約を締結

株式会社日立ソリューションズは、スイスの Scandit AG と、モバイル・コンピュータビジョンの技術で複数のバーコードや QR コードを瞬時に高精度*1で読み取り、AR 技術で業務システムの情報とリアル空間を組み合わせることができる「Scandit Barcode Scanner SDK (ソフトウェア開発キット)」を、これまでのライセンス契約に加えて、2020 年 8 月に国内初のパートナー契約を締結しました。これにより、物流業、小売業、製造業に向けたソリューションを開発・販売するパートナーに対しても、「Scandit」を提供します。

■ 提供価格 個別見積

■ 販売開始日 2020 年 12 月 2 日

 株式会社 日立ソリューションズ

本社 〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番7号
ホームページ: <https://www.hitachi-solutions.co.jp/>

日立ソリューションズ

■ Scandit 社について

Scandit (スキヤンディット)は、2009年にスイス・チューリッヒにおいて設立。創業メンバーはチューリッヒ工科大学、及び米マサチューセッツ工科大学の博士号取得者で、IoTの研究開発から発展しました。企業及び消費者に対し、コンピュータビジョンをもちいて物理、及びデジタル世界を融合させることにより、日々の生活における物体との相互通信を可能にします。

Scanditのテクノロジーは、先進的なバーコード読み取り、文字認識(OCR)、物体認識、およびAR(拡張現実)を組み合わせた、独自の機械学習プラットフォームで、スマートフォンやドローン、ウェアラブル・デバイスやロボットなど、カメラを搭載したいかなるスマートデバイスでも活用できます。

小売、流通、運輸、及び製造業における顧客企業が、モバイル・ショッピングやセルフレジ、在庫管理、配送証明、資産管理などにおいて、自社のモバイル・アプリケーションを強化するためにScanditを採用しています。その他ヘルスケア産業では、患者、投薬、検体、備品などの追跡にScanditを活用しています。Scanditのソリューションは、業務におけるコストと時間を削減し、従業員や顧客の満足度を向上させます。

2020年11月に日本法人スキヤンディット合同会社を設立。

<https://www.scandit.com/jp>

■ Scandit CEO Samuel Mueller 氏からのエンドースメント

「Scandit は、日立ソリューションズとのパートナー連携を光栄に思います。私たちは、『Scandit Barcode Scanner SDK』の高精度読み取りとAR技術の提供により、物流業の入出荷を効率化できる新しいソリューションの実現を嬉しく思います。また、日本の物流業界のデジタルトランスフォーメーションに活用していただけるものと期待します。」

■ 商品・サービスに関するお問い合わせ先

<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>

- ※ Scandit は、Scandit AG.の商標です。
- ※ QR コードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- ※ その他、記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。